

## 平成20年度 第11回協議会報告事項

### 1 平成20年度事業の実施状況について

#### (1) 植栽事業について

- ・ 島の数は20個、実面積で1.8haを植栽（表1参照）
- ・ 植栽区域に植栽年月を記した標柱を設置
- ・ 苗畑1箇所造成（野外活動センター裏手）



№. 3 植栽状況



№. 8 植栽状況



№. 3 植栽状況（植穴のみ）



標柱設置



苗畑造成（野外活動センター裏）

※) 植栽した島の配置については資料1を参照してください

(参考資料)これまでの植栽状況等一覧

年度	区画	区分	適用	島・列	耕耘	土壌改良	客土(バーク)	客土(堆肥)	苗木規格	苗木由来	植栽方法	植栽本数	植栽面積	備考	その他
H10頃	二次林①		ボーイスカウト植栽	-	-	-	-	-	-	?	単木	-	-		
H17	NO.2.5		更新補助作業(作土なし)		○	×	×	×							追跡?
	NO.2		試験播種		○	×	×	×		実生		19kg		センターへ10kg播種	育苗実施中
H18	No.28	1	試験植栽	島	○	○	5kg	10L	小苗	山取	単木	81	0.04	20×20m 以下同様	センターモニタリング
		2	試験植栽	島	○	○	10kg	-	小苗	山取	単木	81	0.04		
		3	試験植栽	島	○	○	-	20L	小苗	山取	単木	81	0.04		
		4	試験植栽	島	○	○	5kg	10L	小苗	山取	3本	243	0.04		
		5	試験植栽	島	○	○	10kg	-	小苗	山取	3本	243	0.04		
		6	試験植栽	島	○	○	-	20L	小苗	山取	3本	243	0.04		
		7	試験植栽	島	○	○	5kg	10L	大苗	山取	単木	81	0.04		
		8	試験植栽	島	○	○	10kg	-	大苗	山取	単木	81	0.04		
		9	試験植栽	島	○	○	-	20L	大苗	山取	単木	81	0.04		
		10	試験植栽	島	○	○	-	-	大苗	山取	単木	81	0.04	対照区	
No.1	高植	試験植栽(列)	列	○	○	5kg	10L	大小	山取	単木	121	0.15	75×20m		
	斜植	試験植栽(列)	列	○	○	5kg	10L	大小	山取	単木	88	0.15	75×20m		
①,②		苗畑造成		-	-	-	-	-	山取	-	-	-	山取苗植用		
H19 (H20春)	No.28	1	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	20L	小苗	山取	単木	169	0.09	センター苗も一部含む	
		2	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	20L	小苗	山取	単木	169	0.09	センター苗も一部含む	
		3	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	20L	小苗	山取	3本	507	0.09	ノウサギ害あり	
		4	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	20L	小苗	山・セ	単木	169	0.09	ノウサギ害甚大	
	No.8	1	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	20L	小苗	山取	単木	169	0.09		
		2	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	20L	小苗	山取	単木	169	0.09		
		3	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	20L	小苗	山取	単木	169	0.09		
	No.7		事業植栽(試行・列)	列	○	○	2kg	20L	大小	山取	単木	419	0.65	大苗194、小苗225	
	No.6		事業植栽(試行・列)	列	○	○	2kg	20L	大小	山取	単木	425	0.65	大苗193、小苗232	
	①		苗畑造成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	野外活動センター裏に3個	
No.28		ボランティア植栽	島(間)	×	×	○	-	小苗	セ	単木	50	-	島1、2間に植栽		
H19(秋)	環境省		復元事業	列	△	△	10kg	黒土0.024m <sup>3</sup>	小苗	環・セ	単木	312	0.29	植穴のみ、ブナほか、植穴施肥	下刈り実施
H20 (秋)	No.3	1	事業植栽(試行)	島	×	×	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	植穴施肥のみ	
		2	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
		3	事業植栽(試行)	島	×	×	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	植穴施肥のみ	
		4	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
	No.5	2	事業植栽(試行)	島	○	×	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+植穴施肥	
		3	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
		4	事業植栽(試行)	島	○	×	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+植穴施肥	
	No.5 (続)	5	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
		6	事業植栽(試行)	島	○	×	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+植穴施肥	
		8	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	171	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
	No.8	1	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
		2	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
		3	事業植栽(試行)	島	○	×	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+植穴施肥	
		4	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
		5	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
		6	事業植栽(試行)	島	○	×	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+植穴施肥	
		7	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
		8	事業植栽(試行)	島	○	×	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+植穴施肥	
		9	事業植栽(試行)	島	○	×	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+植穴施肥	
		10	事業植栽(試行)	島	○	○	2kg	-	小苗	セ	単木	169	0.09	耕耘+改良+植穴施肥	
No.32	1	ボランティア用(植栽なし)	島	○	○	1~2kg	-	小苗	セ(ポット)	単木	80	0.09	耕耘+土壌改良 約半分植栽		
	2	ボランティア用(植栽なし)	島	○	○	-	-	-	-	-	0	0.09	耕耘+土壌改良、半分ほど植栽		
	3	ボランティア用(植栽なし)	島	○	○	-	-	-	-	-	0	0.09	耕耘+土壌改良		
①		苗畑造成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	野外活動センター裏に1個		
育苗①		小苗(ポット)、単、客土なし	×	×	×	-	小苗	セ(ポット)	単木	70	-	-	立教大学サマーキャンプ		
NO.33		小苗(ポット)、単、客土なし	×	×	×	-	小苗	セ(ポット)	単木	169	-	-	10/26クーン		
		小苗(ポット)、単、客土なし	×	×	×	-	小苗	セ(ポット)	単木	169	-	-	11/3北秋田市教委		
環境省		復元事業	列	△	△	10kg	黒土0.024m <sup>3</sup>	小苗	環・セ	単木	250	0.22	植穴のみ、ブナほか3種、植穴施肥		



(2) 自然環境学習について

① 10月19日 環境省野生鳥獣センター主催の観察会（参加者約35名）

協議会委員2名、事務局2名参加。観察会では紅葉のブナ林を散策しながら樹木の種子拾いにもチャレンジ。森林の再生に触れた後に、植樹を実施。



野生鳥獣センターの観察会



観察会終了後の植樹体験



耕耘し土壌改良したエリアに植栽



左奥がキャンプ場



記念撮影



- ② 10月26日 冒険の鍵クーン主催の親子参加の体験活動を開催（参加者9名）  
協議会委員2名と事務局から2名参加。雨天ではあったが、キノコ採取・植樹・種拾い・播種・木工体験が行われた。



キノコの収穫体験



苗木を運んで・・・



植えました



大きな木の周りで種拾い



雨の中ですが種拾いや種蒔きも体験しました



室内ではトチ笛作りに挑戦

## 2 小委員会の開催概要について

技術的事項を検討する場として12月15日に開催した協議概要は次のとおり。

- ・ 委員長に和田委員、副委員長に福森委員を選出
- ・ 県森林技術センターが実施する箇所以外のモニタリングについては、毎年行う調査と複数年に1度行う調査等を組み合わせたもので検討を進める
- ・ 維持管理やモニタリングに、植栽の段階から住民等が参加できる体制を検討する
- ・ ノウサギによる食害が発生しているので、継続して状況を見守る
- ・ 下刈りは当面不要と思われるが、引き続き状況を見ながら検討する
- ・ ブナの豊作年に向けて、天然下種更新作業の実施に向けた検討を行う
- ・ 植栽対象地の絞り込み（精査）を行うこととし、素案を事務局で作成する

## 3 意見交換会の開催概要について

第10回の協議会で時間が不足した自然環境学習への取組みについて、自由に意見交換する会を2回開催した。各回での意見概要は次のとおり。

### ①9月16日（1回目）

- ・ 青少年野外活動センターなどの既存施設の有効活用
- ・ 継続的なイベントを通してのスクールのなもの → リピーターにつなげる
- ・ イベントへの関わり方（支援、主体）
- ・ 再生の取組みが環境へ貢献する考え方の付加
- ・ 冒険心、遊び心、楽しさ（例：音楽会、キャンプなど）
- ・ 学校教育への組み込み
- ・ 広報や周知の強化
- ・ 地域の生活との関連づけ
- ・ 呼び込み型のイベント
- ・ 企業や団体等の受け皿としての検討

### ②12月18日（2回目）

- ・ 子どもを対象にした場合、目的を決めてしまわない活動が大切
- ・ 周知は事業の内容ではなく、「ツール」としての周知が必要で、イメージとして何ができるか、取っつきやすく伝えることが大切
- ・ 来訪者に応じて、臨機応変に植樹を支援できる体制の構築
- ・ 広く森吉山麓高原の魅力を発信するには視覚化したものを使うなどの工夫が必要
- ・ 市のHPやパンフレットにおける森吉山麓高原の情報の充実
- ・ パンプは自分たちで手作りのものが伝わる部分大きい
- ・ 地元住民の参加や関心が薄いので、工夫が必要
- ・ 再生事業として県が耕した部分に、住民などが参加して植樹することを検討
- ・ 情報として何を伝えるか具体的にまとめることの必要性
- ・ これまで植栽した箇所、これから植栽できる箇所などが分かる図面の提供

以上により、情報発信について「何を発信すべきか」という点について作業チームでとりまとめを行うこととし、図面は資料1（添付省略）として整理。